

新型コロナウイルス等感染症対策調査特別委員会 会議録（要旨）

○ 開催年月日 令和3年6月29日（火）

午前 9時30分 開会

午前10時30分 閉会

○ 場 所 第3常任委員会室

○ 出席委員（10名）

委員長	呉屋 等
委員	伊佐文貴
委員	上里広幸
委員	濱元朝晴
委員	知念秀明
委員	桃原 朗

副委員長	伊佐哲雄
委員	又吉 亮
委員	—
委員	宮城 司
委員	—
委員	伊波一男

議長	上地安之
----	------

○ 欠席委員（2名）

委員	屋良千枝美
----	-------

委員	宮城 力
----	------

○ 委員外議員（0名）

○ 説明員（1名）

健康推進部 次 長	松本勝利
--------------	------

○ 参考人（0名）

○ 議会事務局職員出席者（2名）

庶務課長	仲村厚子
------	------

主任主事	渡嘉敷真
------	------

○ 協議案件

新型コロナウイルスワクチンの接種状況について

新型コロナウイルス等感染症対策調査特別委員会 会議録（要旨）

令和3年6月29日（火）

○呉屋等 委員長 ただいまから新型コロナウイルス等感染症対策調査特別委員会を開会いたします。

（開会時刻 午前10時00分）

【協議事項】

新型コロナウイルスワクチンの接種状況について

（健康推進部次長、資料について説明を行う。）

- 伊佐文貴 委員 基礎疾患を有する方の確認については口頭で行うのか。
- 健康推進部次長 国からは証明は特に必要ないと伺っている。実際に確認することは難しいので、口頭で本人の申し出によって確認を行う。
- 知念秀明 委員 浦添市では全市民に接種券を配付しており、うるま市でも7月8日までにを行うとのことであった。接種券を受け取った市民の予約が殺到することで混乱は生じないか。年齢ごとに受付の日付を分けるなど予約の交通整理を行っているのか把握していれば伺いたい。また、本市では接種券を全市民に配付する予定はないのか。
- 健康推進部次長 一斉送付を行うメリットとしては、接種券を受け取ったエッセンシャルワーカー等の市民が県の広域接種センターで優先接種を受けることができる。デメリットとしては、予約が殺到することによる混乱が想定される。本市では7月いっぱい全市民に発送する予定であるが、受付時期や予約期間等についてホームページなどで周知しながら少しずつずらすことで混乱を生じさせないように対応してまいりたい。
- 知念秀明 委員 他市町村で勤務する市民などが職域接種によりワクチン接種を受ける場合なども想定されるが、こういった取組を行っているか。
- 健康推進部次長 基本的には市町村での実施が原則であるが、かかりつけ医のいる医療機関等で接種を行いたいため接種券を発行してほしいとの依頼もある。
- 知念秀明 委員 依頼を受けて接種券を発行したことはあるか。
- 健康推進部次長 個別の対応に全て応えるのは難しいため、団体や市町村からの発行依頼があったものについては対応している。
- 知念秀明 委員 キャンセルが発生した場合の対応について伺いたい。

- 健康推進部次長** 事前にキャンセルがあった場合はその枠を追加で埋めている。当日急なキャンセルが発生したり、予診で接種を受けられないなどの場合は内規で会場内にいるスタッフや医師、看護師、民間運営職員などに接種しており、廃棄することなく実施するよう努めている。
- 伊波一男 委員** 学童や保育所の職員に陽性や濃厚接触が発生した場合、2週間休園となるなど保護者への影響が大きい。保育士等もエッセンシャルワーカーとして位置づけ、優先接種を受けていただく必要があるのではないか。市での対応が難しいのであれば、県へ強く要請するなど対応していただきたい。
- 健康推進部次長** 市では7月末まで高齢者への優先接種に取り組んでおり、予約もほぼ埋まっている状況である。県においては、6月15日からコンベンションセンターで広域接種を開始しており、市長が県へ口頭で保育士等への優先接種について要請を行ったところである。また、7月15に那覇クルーズ船ターミナルへの開設を予定している第3の接種会場でエッセンシャルワーカーへの接種についても進捗を見ながら対応してまいりたい。
- 伊波一男 委員** 地域のクリニックなどと連携して職域接種などは検討できないか。県内の複数の大学では接種券なしで接種を受けられると伺った。事業所ごとに管理できれば本市の接種も進むと考えるが、いかがか。
- 健康推進部次長** 職域接種について市は関与しておらず、団体が管理しており、保育士関連の接種の在り方とは大きく異なると考える。あくまでも市町村の枠組みの中で優先的に接種してほしいということであれば、コンベンションセンターの広域接種会場や第3の会場の動向を見ながら対応を検討してまいりたい。
- 屋良千枝美 委員** 県の広域接種会場との二重予約についてはどう対応するのか。
- 健康推進部次長** 県と市のシステムが異なっているため、二重予約を確認することはできない。県においては、市町村との二重予約を行わないよう事前に市町村の予約をキャンセルして県の予約を取るよう案内しているところである。
- 屋良千枝美 委員** 職域接種については把握しているか伺いたい。
- 健康推進部次長** 職域接種等を行った方の情報は実績請求が国保連合会を通じてなされるため、2か月遅れとなる。
- 屋良千枝美 委員** 12歳から接種可能であるが、児童生徒への接種はどのように行うのか伺いたい。
- 健康推進部次長** ファイザー製が12歳以上、モデルナ製が16歳以上が対象となる。市町村においては12歳以上が対象となっているが、あくまでも希望者への接種となる。日本小児科学会が集団接種は望ましくないのではとの報告も行っているところ

から、教育委員会とも相談しながら進めてまいりたい。接種希望の確認は保護者を通じて丁寧に対応してまいりたい。

(委員長交代あり)

- 呉屋等 委員 残り6万6,000名へ7月中に接種券を発送すると伺ったが、年齢ごとの区分について伺いたい。
- 健康推進部次長 概数での答弁となるが、60歳から64歳が5,300名、50歳から59歳が1万2,500名、40歳から49歳が1万4,800名、30歳から39歳が1万2,900名、20歳から29歳が1万1,600名、12歳から19歳が9,000名程度と把握している。
- 呉屋等 委員 区分ごとに人数に差があることから、年齢区分ごとに分けて発送するのではなく、次回発送予定の年齢区分からもある程度工面して発送してはどうか。
- 健康推進部次長 接種については集団接種で一日当たり1,700名、個別接種で1,000名程度となっている。広域接種会場の進捗やエッセンシャルワーカーの接種状況も鑑みながらこなせる数を注視しながら発送してまいりたい。
- 呉屋等 委員 接種券を発送しておけば市外の接種会場や広域接種会場でも接種できるため、早めに接種券を準備していただきたい。市長が県へ保育士の優先接種を依頼したとのことであるが、口頭で依頼したと理解してよいか。
- 健康推進部次長 そのとおりである。6月8日に中部市町村会の会長として要請を行った際に口頭で保育士関連職員の優先接種について要請を行った。
- 知念秀明 委員 仮に県の接種センターが保育士等をエッセンシャルワーカーとして受け入れるとした場合、接種券が手元にないことも想定されるが、その場合はどのような対応となるのか。
- 健康推進部次長 接種券の送付前であれば随時対応してまいりたい。ただし、7月末までに接種券を全市民に送付することとなっており、時期をずらしながらであるが、送付を行っていくため、タイミングによって対応が異なってくる。団体から名簿をもらって抜き取り作業を行うなど様々な事務も想定されるが、状況を見ながら対応を検討してまいりたい。
- 知念秀明 委員 同じ保育所に勤務する職員のうち宜野湾市在住の方のみが広域接種を受けられないということにならないよう、しっかり対応していただきたい。
- 呉屋等 委員長 本件については質疑を終結してよいか。

(「異議なし」という者あり)

-
- 呉屋等 委員長 休憩いたします。(10時45分)
 - 呉屋等 委員長 再開いたします。(10時47分)
-
- 呉屋等 委員長 保育士等への優先接種については、福祉教育常任委員会が6月定例

会で陳情を採択した経緯もあるが、意見書等は提出していないことから、本委員会で意見書案をまとめ、県へ提出してまいりたいと考えているが、各委員からの御意見を伺いたい。

- 伊佐文貴 委員 陽性者や濃厚接触者が発生したら2週間休園となる。これまでも半数近くの園が閉まり、800名の市民に影響が出たとも伺っている。ぜひ、意見書提出を行うべきと考える。
 - 伊波一男 委員 市の取組とは別に県の広域接種センターで保育士等の優先接種をお願いしたい。
 - 呉屋等 委員長 県に対して意見書を提出することといたしたい。意見書案については作成後、次回の委員会に提出してまいりたい。
 - 伊波一男 委員 次回の委員会を待たずに作成次第、ライン等で送付していただければ会派調整を行ってまいりたい。
 - 議会事務局 作成次第、各委員のラインへ送付したい。また、全議員が確認できるよう、タブレット端末への送信も対応してまいりたい。
-

○呉屋等 委員長 以上をもちまして、本日の委員会を閉会いたします。

閉会時刻（午前10時30分）